

三山雅集曰性肯大皇山萬御寺と号し三
百坊の及場なり。能除禁闕を出てけし
御所をー鏡は昇天ありけりより民俗築
一塚^{ササ}祖^ミ之故^ミ御^ミ皇子^ミ野といふよりけ名を
跡をり。古門の礎堂社の庭今ちの足へを
と云く

羽澤祀ふし書をいふに統弼亮亮院と有
同六し書し統弼辱昨亮亮院澄定とあり
或東の書小能除ち子と書しーさ人來て元
肉ハ書上義光の手に属と(さよー告めふ

といふ事あり。そ又の續は代^代言さ信一人山
伏一人健ひて又來り。羽^羽書よ七日五^五書ー
うりとしてけ坊に泊り曉方出て極楽山に入
て見へる書上の地へ誠^誠新々^新と見へる。そ
書を^新明して見れを歌一首あり

時ハちるよーあさねとも志むー浦を

花^花山乃あきれり枝

前夜健ひけり山伏は名いりにと同い
られを我ハ能^能家方の順礼度山の一呼と
いふ者として傳り信ハ羽^羽書とて書上天